

桂野遺跡

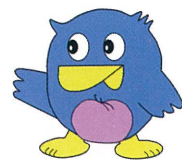
甲斐国千年の都

(縄文の千年)



笛吹市

桂野遺跡は笛吹市御坂町上黒駒地域に位置しています。縄文時代中期（約五千年前から四千年前）の土器や土偶が出土した遺跡で、山梨県内の縄文時代中期を代表する遺跡としても知られています。現在、この地域は桃・葡萄の生産が盛んであり、笛吹市の基幹産業の一翼を担っています。



桂野台地に花ひらいた
美しき縄文文化

桂野遺跡の謎を 解き明かそう!



桂野遺跡はカップ型土偶・バンザイ土偶・渦文深鉢などが出土した縄文時代中期の遺跡です。甲府盆地の東側に位置し、背後には御坂山塊が広がる桂野台地に桂野遺跡は位置しています。周辺には、花鳥山遺跡・三光遺跡・中丸遺跡などの遺跡があり、縄文時代の華やかな文化・生活の一端を垣間見ることができます。

概要

桂野遺跡は、笛吹市御坂町上黒駒地域、標高約 500mの桂野台地に広がる縄文時代中期を中心とする集落遺跡で、その範囲は東西 500m、南北 200mに及びます。昭和28年の農道工事の際、多量の縄文土器が出土し、それを契機にその後も数度の発掘調査が行われました。平成9年から実施された農道工事に先立つ発掘調査では、縄文時代中期初頭から中期末にかけての集落遺跡が確認され、多くの住居跡、落とし穴や墓などの土坑が調査されました。この調査のなかで多くの土偶・土器が見つかっています。土偶は、胴部で二つに折られたカップ型土偶（愛称みさかっぱ）・同じく胴部で二つに折られたバンザイ土偶（愛称ヤッホー）・片手を肩に置き、もう片手で肩に置いた手を掴むポーズ土偶などバラエティに富んだものが出土しました。縄文土器も五領ヶ台式・井戸尻式・曽利式など、主に縄文時代中期の土器が多く出土しました。



発掘調査
の様子



土器出土状況



住居跡出土状況



☆ 出土した土器・土偶

🔍 土器

縄文土器の多くには、縄文がほどこされています。縄文時代の土器は、一つひとつの土器文様が異なり、とてもユニークです。山梨県の縄文土器は、その6割以上が縄文時代中期のもので占められています。縄文時代中期は、縄文文化が最も栄えた時期とされ、多くの美しい縄文土器がつくられたと考えられています。桂野遺跡でも土器の全体に渦を巻いた、通称、渦文深鉢という珍しい土器が出土するなど多くの縄文土器が出土しました。



渦文深鉢



埋甕出土状況



土器出土状況

🔍 土偶

山梨県では約2000点の土偶が確認されています。そのうち70点は桂野遺跡から発見されたものです。笛吹市内では、釈迦堂遺跡から土偶1116点が発見される等、多くの土偶が出土しています。土偶のほとんどは、縄文時代中期につくられたもので、様々なポーズ・表情・かたちがあります。また、そのほとんどは、故意に壊された状況で出土します。このような、縄文時代につくられた土偶には、どのようなメッセージがこめられていたのでしょうか。



かっぱ型土偶
愛称 みさかっぱ



バンザイ土偶
愛称 ヤッホー



土偶出土状況



出土した土偶



発見された敷石住居跡



敷石住居は縄文時代中期末に出現し、縄文時代後期前半に多くみられます。これまでに山梨県では、約200軒の敷石住居跡が確認されています。しかし、縄文時代中期の敷石住居跡はそれほど多く確認されていません。右の写真の敷石住居内は一部かく乱により、欠損している部分がありますが、残っている部分だけでも、使用された石材は368点にもおよびます。最も大きな石は、150kgから200kgと推定されています。



敷石住居の様子



発掘調査後の桂野遺跡

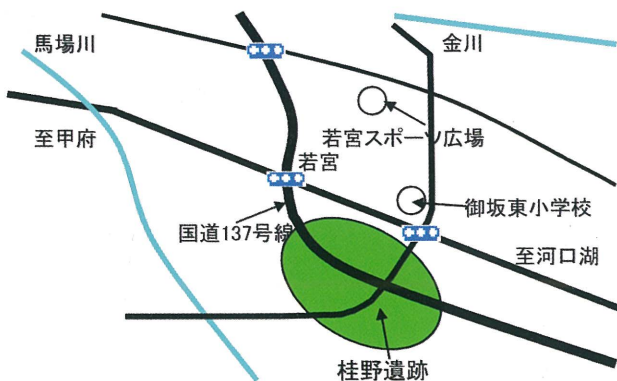
発掘調査が終了した桂野遺跡は、遺構の一部が道路建設のため壊されてしまいました。しかし、約9割に遺構は、今も土の中で静かに眠っています。発掘調査によって出土した遺物は、発掘調査終了後に接合等が行われました。現在は山梨県立博物館・春日居郷土館等に展示され、縄文時代の文化・生活の一端を私たちに伝えています。



発掘調査地より甲府盆地を望む



桂野遺跡周辺案内図



□桂野遺跡への交通のご案内

- ・中央自動車道 一宮御坂 IC より車で約15分
- ・JR 中央本線 石和温泉駅下車 タクシーで約25分

笛吹市教育委員会文化財課

〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 809-1

電話 055-261-3342 FAX 055-261-3340

このスポットガイドは、文化庁の補助金を受けて作成しています。